

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～19℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の45%（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり200kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり257kgの水揚げで、前週の14%（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり1kgの水揚げで、前週の1%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり134kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり653kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり91kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり535kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり14kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/15～3/18の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）4日延27隻、総計1,584箱、1航海最高175箱、平均58.7箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>